

薄型、防水、テブレ補整、大画面液晶、高画素記録など

# デジカメ

最新情報

## 510万画素の超薄型デジタルカメラ

### 『サイバーショット DSC T1』

ソニーマーケティング

510万画素CCD搭載のデジタルカメラ『サイバーショット DSC T1』は携帯性と使い易さにこだわり、薄型ボディや2.5型の大画面液晶モニターを採用したのがポイントです。

『サイバーショット DSC T1』は、従来の横長デザインとは一線を画す薄いスクエア型のデザインを採用。本体の最薄部分は厚さわずか17.3mm、最も厚い部分でも21mmの薄型設計で携帯性を高めています。また、高さのあるスクエア型のメリットを生かし、背面の液晶モニターは従来よりひと周り大きい2.5型の大画面。液晶モニターは、強い太陽光の下でもハッキリ見やすいハイブリッド型液晶を採用しました。

さらに、ズームアップした時にレンズ部分が前に飛び出さないスマートなプリズム式光学3倍ズームを採用。カメラ本体内でレンズを移動させてズーミングす

る独自の折り曲げレンズ機構で、被写体に意識させることなく静かにズームアップ、幼児やペット、昆虫の撮影などに有効です。

CCDは510万画素とトップレベル。カメラレンズはドイツ・カールツァイス社認定のレンズです。



『サイバーショット DSC T1』

オープン価格(およそ60000円前後)  
写真中央部のふくらんだ部分はスライド式のレンズカバー。上にスライドさせると自動的に電源が切れます。

## 防水機能を搭載

### 『CAMELIA ミュー25DIGITAL』 オリンパス

オリンパスの『ミュー25DIGITAL』は防水機能が特徴の400万画素のデジタルカメラ。雨に濡れた時や、スキー・スノーボードなどアウトドアでの撮影に安心の一台です。

オリンパスが『ミュー25DIGITAL』でこだわったのはデジタルカメラの利用シーンを広げること。このため、アウトドアシーンでもっと積極的に活用できるように防水設計に着目、内部のメカ部分をプラスチックと金属の2重層でカバーすることでJIS規格4級の防水性能を実現しました。さすがに水の中に本体を沈めることはできませんが、水がバシャバシャツとかかる程度ならへっちゃらです。

また、デザインにもこだわりメタル系のボディでは珍しい丸みを帯びたやさしいデザインを採用。さらに、レンズカバーと、撮影時のグリップハンドルの2役をこなすスライドカバーもオリンパスの特徴。シャッターボタンは大きく押しやすい親切設計です。



『ミュー25DIGITAL』  
63000円

### 『IXY DIGITAL 400』 キヤノン

『IXY DIGITAL』シリーズの高画素化・高倍率化を求める声に応えて登場したのが『IXY DIGITAL 400』。400万画素CCDと光学3倍ズームレンズを搭載したデジタルカメラで、従来の『IXY DIGITAL 320』(320万画素、2倍ズーム)より機能を高めながらボディサイズはほぼ同サイズのコンパクト設計です。

『IXY DIGITAL 400』はノイズ信号のカットや高精度な露出・ホワイトバランスを可能にする独自開発の映像処理回路「DIGIC」を搭載。キヤノンレンズや400万画素CCDと合わせ、解像感の高い自然な色調再現の描写に力を発揮します。

デザインでは、稜線カーブを利用してどの角度からみてもきれいなフォルムが得られるよう工夫。さらに、外装は美しいステンレスボディですが、裏面の操作ボタンの数が多すぎて少し煩雑なのが残念です。



『IXY DIGITAL 400』  
オープン価格 実勢価格 5万円前後

光学式手ブレ補整機能いつでも安心撮影!!

デジタルカメラ

## 『ルミックス DMC FX5』

松下電器産業

パナソニックのデジタルカメラ『ルミックス DMC FX5』はデジカメでは世界初!手ブレ補整機能を搭載したデジタルカメラです。

最近のデジタルカメラはコンパクトボディが主流ですが、本体が小さくなればなるほど、シャッターを切る時のちょっとした力みで写真画像がブレてしまうものです。特に、写真撮影後デジタルカメラの小型液晶モニターで見た時には「ブレ」に気づかなかつたのに、いざ写真プリントしたりパソコンに取り込んで拡大すると「ブレている」という失敗も意外と多いものです。

『ルミックス DMC FX5』はパナ

ソニックがデジタルビデオカメラで培った光学式手ブレ補整機能を搭載。レンズ部分内臓のブレを検知する「ジャイロセンサー」がシャッターを切る瞬間の微細なブレを検知し自動修正。室内での撮影や夜景撮影などスローシャッターを必要とする場面に強く、きれいな写真を安定して撮影できるのがメリットです。

しかも、プロ写真家にも定評のあるドイツ・ライカ社の厳しい基準をクリアした「ライカ DC バリオ・エルマリートレンズ」や有効400万画素のCCD、ノイズを低減し、解像度を高める映像処理回路「ビーナスエンジン」と基本性能も充実。高画質撮影を実現してくれます。



オープン価格(実勢価格 5万5千円前後)

コンパクトデジタルカメラで世界初!

有効画素数630万画素のデジタルカメラ

## 『ファインピックス F610』

富士写真フイルム

富士フイルムからコンパクトデジタルカメラでは世界最高!630万画素CCD搭載のデジタルカメラ『ファインピックス F610』が新登場です。

『ファインピックス F610』は縦型コンパクトモデルで、最新・最高性能を追求した機種。クッキリハッキリの解像力に優れた630万画素のCCD「スーパーCCDハニカム HR」を搭載し、しかも、独自の画素処理技術により記録時の最大画素数は1230万画素で記録します。富士フイルムの宣伝部岩田主査によれば、普通の写真サイズ(127×89

ミリ)はもちろん、6つ切り(254×203ミリ)や四つ切り(254×305ミリ)などの大判プリントでも大変きれい、とのこと。

また、液晶モニターにもこだわり、従来一つの液晶モニターに写真映像と文字情報を重ねて表示していましたが、今回は写真映像用と文字情報表示用のそれぞれに専用の液晶を設けた「デュアル液晶モニター」を採用。さらに、マクロ撮影や夜景撮影、動画撮影、マニュアル切替えなど頻繁に利用する操作は親指だけ行えるよう操作性を高めています。



『ファインピックス F610』

オープン価格(予想価格 約6万円)